

子供たちがのびのびと野外生活

気分は古代人!?

いいたて大自然塾

火おこしや化石発掘 ご飯も自分たちで



▲火おこしのようす。昔は火をおこすのも一苦勞。

便利な生活に慣れた子どもたちに、不便もののびのびとした暮らしを体験してもらおうと、第3回いいたて大自然塾は8月6日から8日の日程で村民の森あいの沢で行われ、村内の小学4年生31人が野外生活を体験しました。

今回の塾には相馬農業高校飯館分校の生徒たちで構成するジュニアリーダー「いいたてティーン



▲化石発掘。見つけられたかな？

エイジャース」のメンバー10人も参加し、期間中子供たちの仲間、指導者と一緒に生活しました。

塾の初日、テント設置の後に行われた火おこしのプログラムでは、子供たちは古代人のように、木と木をこすり合わせて火をおこす作業にチャレンジ。高校生と一緒に汗だくになりながら一生懸命木をこすり合わせていました。しばらくして次々



▲食事もみんなで作ります。(写真はきりたんぼ作り)

に火がつき始めると、子供たちは歓声を上げ、火おこしの成功を喜んでいました。

このほかにも、期間中には自然を感じながら遊ぶネイチャーゲームや化石発掘、キャンプファイアーなども行われ、子供たちはいいたて大自然塾を存分に楽しんだ様子でした。